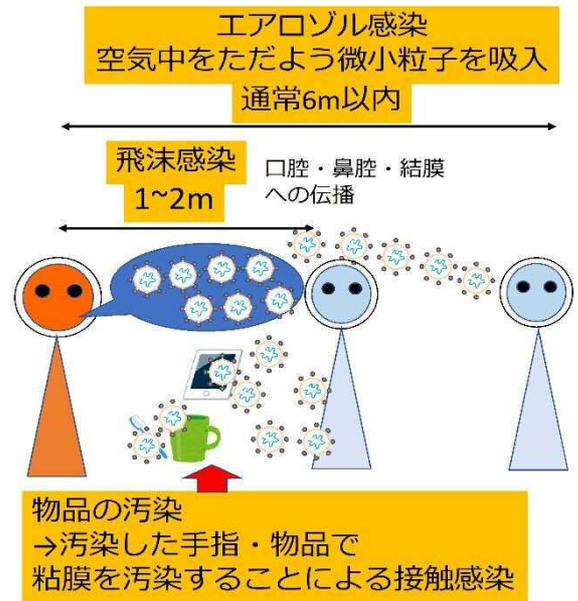


① 必要な個人防護具が揃っているか、適切な手順で着脱できるか
確認しましょう。

新型コロナウイルスは

- 換気が悪い場所でのエアロゾル（微小飛沫）の吸入
- 口、鼻、目の粘膜への飛沫の付着
- ウイルスが付着した手指による粘膜への接触によって感染します。

必要な個人防護具は状況によって、以下のよう
なもの推奨されています。



	手袋	サージカ ルマスク	N95 マスク	ガウン	眼の防護
診察 (飛沫曝露リスク大 ^{注1})	△	○	△	△	○
診察 (飛沫曝露リスク小 ^{注2})	△	○	△	△	△
呼吸器検体採取	○	○	△	○	○
エアロゾル発生手技	○		○	○	○
環境整備	○	○	△	△	△
リネン交換	○	○	△	○	○
患者搬送 ^{注3}	△	○	△	△	△

○:必ず使用する △:状況により使用する

注 1) 患者がマスクの着用ができない、近い距離での処置が必要など、顔面への飛沫曝露のリスクが高い場合。

注 2) 患者はマスクを着用し、顔面への飛沫曝露のリスクが高くない場合。

注 3) 直接患者に触れない業務（ドライバーなど）ではタイベック®を含むガウンは不要です。

一般社団法人 日本環境感染学会 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド（第5版）

鹿児島大学病院提供 動画「コロナ 2019 接触度に応じた個人防護具の選択」



新型コロナウイルスに対応するためには、「うつさない、うつらない」ための準備が必要です。個人防護具は、**使用のたびに廃棄することが必要**なため、以下の資材が十分に確保されているか確認しましょう。

- 使い捨て長袖ガウン・エプロン（陽性者や環境へ濃厚に触れる可能性がある場合はガウンを、衣類に接触する場合はエプロン装着が推奨されます）
- 使い捨て手袋（プラスチック、ニトリル手袋等）

※手袋とガウン・エプロンは、患者および患者周囲の汚染箇所に直接接触しない場合は不要です

- ゴーグルまたはフェイスシールド

- サージカルマスク

※ エアロゾルが大量に発生（気道吸引、気管内挿管、抜管、マスクでの用手・非侵襲的換気、歯科口腔処置）し、室内の空気にウイルスが大量に存在しているような時は「N95マスク」が必要になります。

* N95 マスクは、装着方法をきちんと確認しておきましょう。（11 頁参照）

- ヘアキャップ（必須ではありませんが、特に汚染した手袋で髪を触りやすい方は使用も考えましょう）

■ 防護服等の正しい着方, 脱ぎ方

陽性者との接触で職員が感染しないよう、適切な防護具着脱手順が教育され、手順通りの着脱が実施できるよう表示するなどの環境整備をしましょう。

※ 場面や接触の度合いに応じて个人防护具を選択しましょう。

※ 可能であれば、利用者にもマスクを着用してもらいましょう。

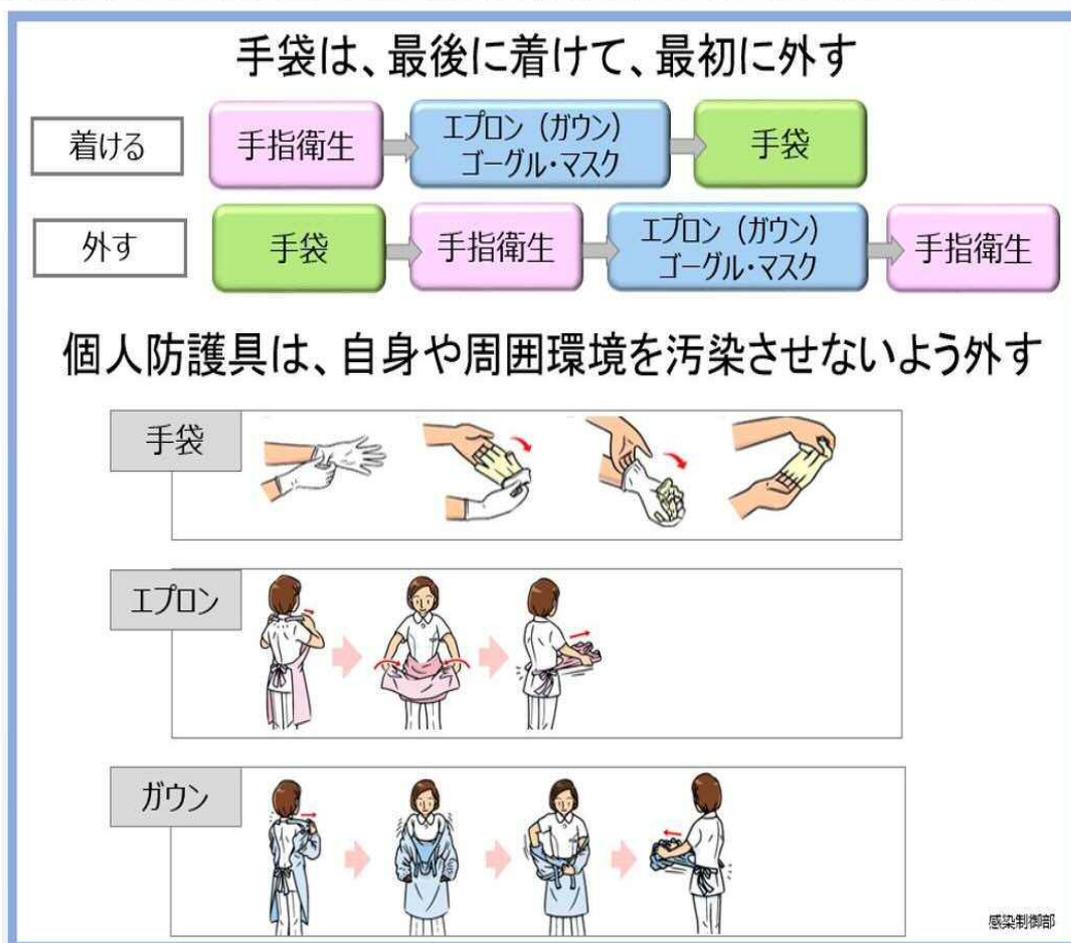
(マスクを着けられない利用者との接触時は、職員はゴーグル・フェイスシールドなどで目の保護を確実にいきましょう。)

个人防护具の着脱時の注意事項

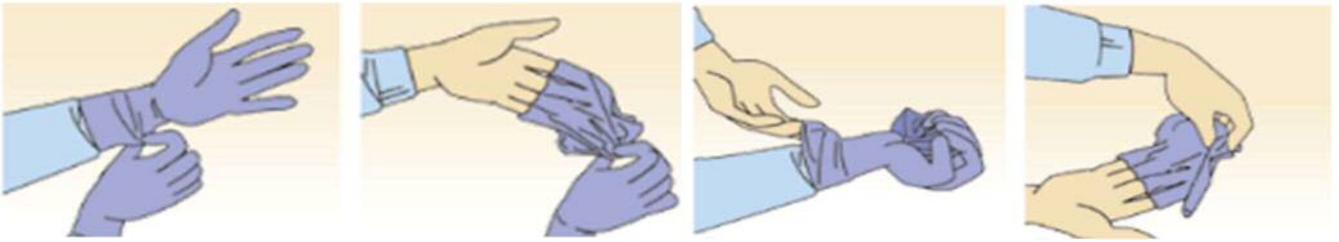
★着脱順番を厳守!!

・着用順を守らなければ、うまく外せない

・外すときは、自身を汚染させる可能性があり順番を守って慎重に!



【手袋の外し方】



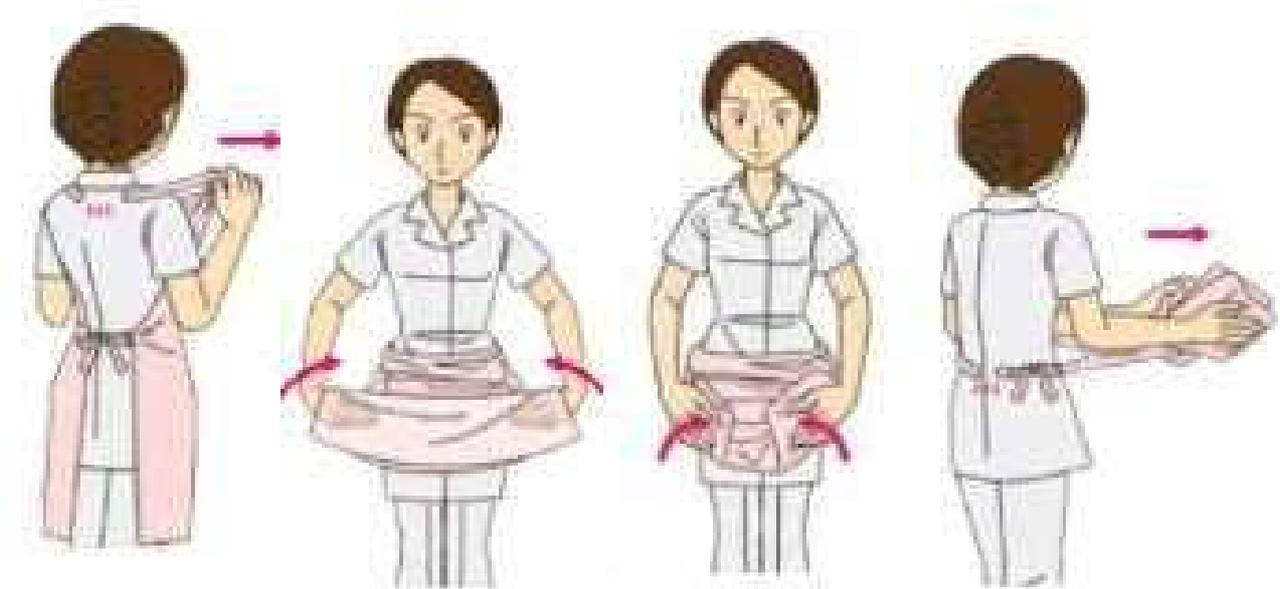
袖口を掴む

中表に外す

袖口内側に指を入れ中表に外す

職業感染制御研究会 HP より抜粋

【エプロンの外し方】



首紐をちぎる

裾の内側に手を入れる

中表に丸める

腰紐をちぎる

【マスク・フェイスシールドの外し方】

職業感染制御研究会 HP より抜粋



表面は汚染されているため、紐や耳掛けを持って外す

職業感染制御研究会 HP より抜粋

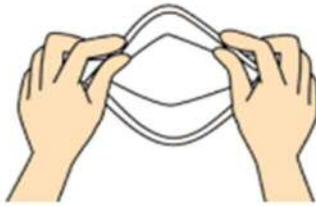
【N95 マスクの着け方・外し方】

N95 マスクを適切に装着します。N95 マスクの製品ごとの取扱説明書に従い装着します。

例) 三つ折タイプのN95 マスクの着用方法



1 マスクの上下を確認し、広げます。
ノーズワイヤにゆるやかなカーブをつけます。



2 鼻とあごを覆います。



3 マスクを押さえながら上ゴムバンドを頭頂部へ、
下ゴムバンドを首まわりにつけます。



4 マスクを上下に広げ、鼻とあごを確実に
覆います。



5 両手の指で鼻当てが鼻に密着するように軽く押
します。
◎ポイント：ノーズワイヤが鋭角になると頂点
にすきまができてしまうため、注意。



6 両手でマスクを覆い、空気漏れをチェッ
クして密着のよい位置にマスクを合わせ
ます。

マスクと顔の密着性を確認するために、装着時
には必ずユーザーシールチェックを行いましょう。

マスクが十分開いているか、鼻当てがきちんと
密着しているかを確認し、手を当てて息を吸った
り吐いたりして隙間がないかチェックします。脇
や鼻周辺から息の漏れがあれば、もう一度ゴムバ
ンドや鼻当てを調整して、シールチェックをやり直
してください。



**N95 マスクは下のゴムバンドを外す→マスク表面は触れないように上のバンドを外して
脱ぎましょう。**



その他、防護服の着脱方法等については、県のホームページ
に解説動画がありますのでご確認ください。